



合同会社ソーシャルワーク鬼北 SDGs宣言

当社は、「児童福祉法の関係条項を遵守し、家庭的な養護のもと、委託児童の自主性を尊重しつつ基本的な生活習慣を確立するとともに、豊かな人間性及び社会性を養い児童の自立支援を行う。」

との経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決、および持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2024年3月29日

合同会社ソーシャルワーク鬼北

代表社員 若藤 明弘



重点項目(ターゲット2030)

子供の自立支援

ファミリーホーム事業の運営を通じて、関係機関との協力のもと、子供が豊かな人間性と社会性を養い、自立した生活が実現することを目指し、支援していきます。

【主な取り組み】

子供一人ひとりとの緊密な対話、幼稚園・学校・医療機関との協力体制強化、社会福祉士など有資格者の配置



アットホームな職場環境

社員一人ひとりの健康や生活スタイルに配慮し、子供が安心して生活できるアットホームな職場環境を目指します。また、人材育成に積極的に取り組み、チャレンジする社員を応援します。

【主な取り組み】

社員との定期的対話、柔軟な勤務体系の導入、休暇制度の拡充、研修参加・資格取得の費用支援



自然環境との共生

環境をテーマとした教育や自然とふれあう機会を通じて、子供に自然環境との共生の大切さを伝えていきます。また、身近でできる省エネ・省資源の取り組みを実践します。

【主な取り組み】

エコ教育の実施、郊外活動における自然教育、照明のLED化、こまめな節電、プラスチック製品の利用制限



コンプライアンスの徹底

役職員全員が関係法令や社会規範を遵守し、個人情報の管理を徹底して、取引先との公正な取引に努め、地域の皆さまからの信頼関係を深めていきます。

【主な取り組み】

法令遵守の徹底、社内ルールの整備、個人情報の厳正な管理、取引の公正性確保、緊急時の対応マニュアルの作成



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。